

南幌町子育て世代住宅建築費助成事業について



助成金を得て、広々マイホーム生活が実現！

南幌町 子育て支援事業

住宅建築助成金

最大助成金額

200万円

50%OFF

助成金

宅地価格

延長決定

エリアを拡大して2024年3月まで

最大助成金額 **200万円** + みどり野団地の宅地価格 **50%OFF**



年月日	
平成26年5月～平成27年9月	人口減少等課題解決に向け市内にプロジェクトチームの設置
平成28年4月～令和3年3月	南幌町子育て世代住宅建築費助成事業開始
令和3年4月～	好評につき3年間事業期間延長

南幌ニュータウンみどり野団地の販売促進と本町の人口減少の抑制への課題解決を図るために、平成28年度より、子育て支援策として「**南幌町子育て世代住宅建築費助成事業**」を開始。子育て世代の新築住宅にかかる建築費を最大200万円の助成金制度。加えて、北海道住宅供給公社における「**ニュータウンみどり野宅地価格50%オフ**」を実施した結果、令和に入り分譲（人口増）が好調に転じた。

- ◆ 助成対象者の要件
中学生以下のお子様がいる世帯、または夫婦共に年齢が40歳未満の世帯
- ◆ 助成要件
①南幌町に5年以上定住する意思のある子育て世帯で、町内に住宅を新築すること
②自己居住用の住宅で、住宅部分の床面積が50㎡以上であること 他

◆ 助成金額

	区分	助成額
転入者	みどり野団地美園地区及びみどり野きた住まいるヴィレッジ区画	200万円
	みどり野団地西町・緑町・東町地区	100万円
	上記以外	50万円
既住者	みどり野団地美園地区及びみどり野きた住まいるヴィレッジ区画	100万円
	みどり野団地西町・緑町・東町地区	50万円
	上記以外	25万円

南幌町みどり野きた住まいるヴェレッジについて

(官民連携によるプロジェクト)

【みどり野きた住まいるヴェレッジとは】
 北海道、南幌町、北海道住宅供給公社、(一社)北海道ビルダーズ協会、(公社)日本建築家協会(JIA)北海道支部が主催し、北海道がおススメする「きた住まいるメンバー」に登録する工務店と建築家が南幌らしい暮らしとまちづくりを提案するプロジェクト。

【概要】
 (1) 場所：南幌町美園地区(南幌ニュータウンみどり野内)
 (2) 規模：1期：住宅6棟(11区画) ※モデルハウス6棟建設：完売済み
 2期：住宅17棟(25区画) ※8棟完成済(残9棟)
 (3) 特色：・基本2区画セットでの販売となり、住宅を千鳥配置に設定
 ・工務店と建築家がコラボして1棟の住宅を建築
 ・高気密高断熱の「北方型住宅2020」の基準を満たす住宅

年月日	
平成28年 7月～ 平成28年11月	JIA、北総研、北海道による勉強会でコンセプト検討など
平成28年12月～ 平成29年 3月	事業者公募、説明会の開催など(6グループが参加)
平成29年10月～ 平成30年 5月	主催・事業者定例会、セミナー、現地見学会の開催など
平成30年 6月	第1期開始 オープンイベント開催(第1期モデルハウス6棟) オープン以降モデルハウスに約3,000人が来場(イベント含む)
令和元年 5月	第2期開始
令和 2年12月	2022北の地域住宅賞 知事賞受賞 官民連携による「きた住まいるヴェレッジ」や「子育て世代住宅建築費助成事業」などの取組みが評価される
未定	第3期開始



南幌町の子育て支援策について

子ども医療費

0円

高校生までの医療費無料化。
町内外の病院全て対象です。

高校生の
通学費助成

最大1万円/月

自宅から高校に通学する生徒へ
距離に応じて通学日の1/2
(月額上限1万円)を助成。

学校給食の
米・麺・パン代
全額補助

全額補助

美味しく地産地消を推進。
地元のお米や野菜を使用した
給食の主食代を全額補助。

子育て支援米

年間10kg

通常より農薬使用量を約59%
削減した安心安全な南幌産米を
中学校卒業まで支給。

あそびの達人教室

対象:小学1年生～6年生
スポーツ活動や文化活動
を行う異学年交流の場

すきやき隊

せわずき・せわやき隊の略
通学路で声かけや見守り等
を行う

学童保育

対象:小学生
放課後や学校休日に家庭
に代わる生活の場を提供

子育て支援センター

対象:小学生
開放時間であれば、好きな
時間に利用できる

ジュニアアスリートクラブ

対象:小学1～小学4年生迄
楽しみながら基礎的な運動
能力やバランス能力を育成

バケツ稲づくり学習
教育田学習

対象:小学生
稲作体験学習が授業の中に
組み込まれている

南幌町の新築住宅建築(移住)状況について

※南幌町子育て世代住宅建築費助成事業を活用して町外の方が新築住宅を建築した件数(転入者)

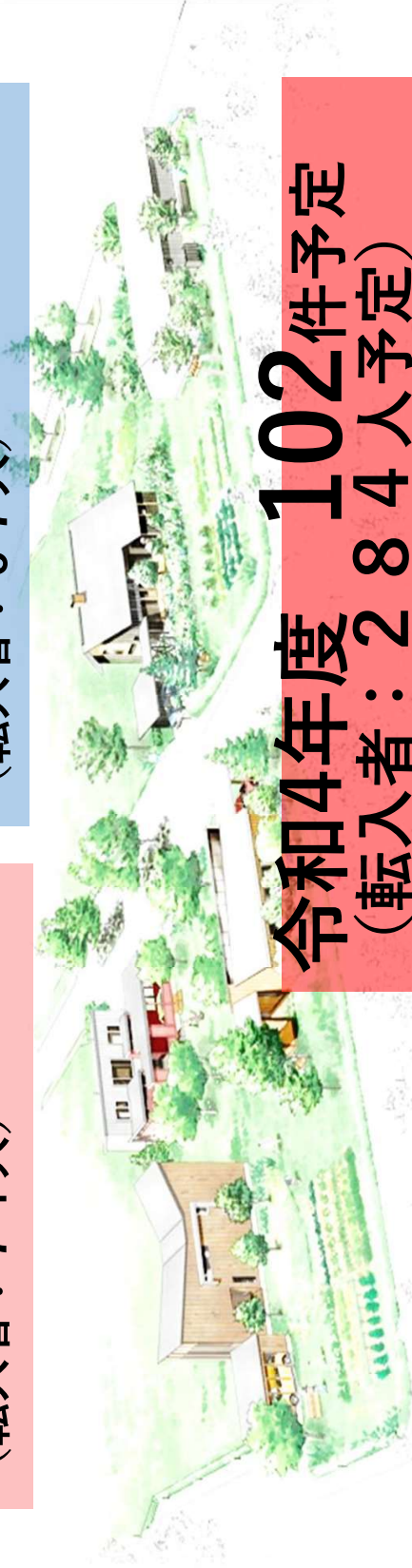
平成30年度 **7**件
(転入者: 19人)

令和元年度 **15**件
(転入者: 41人)

令和2年度 **35**件
(転入者: 74人)

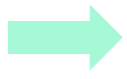
令和3年度 **27**件
(転入者: 67人)

令和4年度 **102**件予定
(転入者: 284人予定)



南幌町 24年ぶりの人口増加

- 道央圏連絡道路の整備、北海道ボールパークの開業、札幌市近郊の宅地価格高騰、新型コロナウイルス感染症によるリモートワーク普及など周辺状況の変化
- 北海道住宅供給公社事業主体の有り余る住宅団地
- 子育て支援施策に注力する取り組み



子育て世代を中心とした 移住者の増加

人口増を達成【2022年】

(1999年以来)

23年ぶりに人口増加 移住定住の住宅施策奏功

南幌町 23年ぶりに人口増加 移住定住の住宅施策奏功

札幌通勤の立地条件生かす

2022年7月22日北海道建設新聞より



移住者が増加している地区のBQ大会、ラジオ体操の様子

最後に…

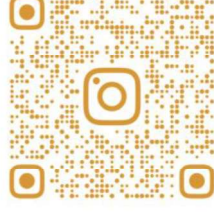
子どもがのびのびと遊べる
全天候型屋内遊戯施設「ほれっぼ」
2023年5月にオープンします!!
是非南幌町へ遊びに来て下さい。



目指すのは、“人”と“まち”、“公園”を育てる交流拠点



南幌町LINE公式アカウント
『南幌巡り』



南幌町地域おこし協力隊
インスタグラム

CHIKIHO.NANPORO